

# 80 項目のメリッ8つの理由

私たちは、新職業性ストレス簡易調査票（80項目）をおすすめします！

## 1 料金は同一料金

57項目でも80項目でも料金は変わりません。

## 3 受検者の抵抗感があまりない

ストレスチェック57項目を受験するためには、平均的に10分～15分の時間を要します。80項目は質問項目が増える分だけ受検者の負担も増えることとなりますが、一般的には15分～20分あれば十分すべての質問に回答することができます。

## 5 組織の良強みを把握できる

個人のストレス状態以外に様々な組織レベルでの分析を行うことができるため、組織の課題だけでなく**組織の強みを把握**することもできます。例えば、新職業性ストレス簡易調査票の尺度である「上司の公正な態度」「ほめてもらえる職場」「失敗を認める職場」「経営層との信頼関係」「変化への対応」「個人の尊重」「公正な人事評価」などの平均点が高い職場については、ストレス要因があったとしても組織として対応ができる職場といえるかも知れません。それぞれの尺度によって平均が高い尺度もあれば低い尺度もあと思います。組織の課題だけでなく強みも把握すれば、メンタル不調を未然に防止でき、かつ一人ひとりのパフォーマンスも向上する可能性もあります。

## 7 セルフケアだけでなく ラインケアにも役立つ

メンタル不調を未然に防止するためには、セルフケア、ラインケア、産業保健スタッフによるケアが大切です。57項目は、心身のストレス状態とストレス要因を把握して、ストレスをマネジメントするための方法を身に付けて、メンタル耐性を高めることができます。80項目は、一歩進んで、さらに**組織としてメンタル耐性のある労務環境を構築**することができます。組織の課題、組織の強みを把握して、組織内あるいは組織の外のリソースも活用しながら、よりメンタル不調が起きにくい職場、そしてより高いパフォーマンスを実現できるための職場づくりを行うことができます。

## 2 80項目には57項目の質問が すべて含まれている

80項目の質問項目には、57項目がすべて含まれています。80項目でストレスチェックを受験すれば、80項目に基づく帳票だけでなく、57項目に基づく帳票も結果として得ることができます。1度80項目で受検すれば、80項目と57項目のそれぞれのメリッを生かしたフィードバックを提供することが可能です。

## 4 組織の課題を見つけやすいこと

57項目は、個人のストレス状態に重点を置いています。80項目は、集団的分析によって**組織レベルでの状態を把握**することに重点を置いています。57項目の組織レベルの分析では、「仕事のストレス判定図」では、「職場の仕事量とコントロール」と「上司の支援と同僚の支援」という組織の状態を分析することができますが、80項目を受検すると仕事の負担だけでなく、**作業レベル、部署レベル、事業場レベルでの分析**ができます。組織の課題が仕事の量や質にあるのか、キャリア形成、人事評価にあるのか、仕事の分担の仕方にあるのか等、具体的に把握できればそれに応じた対策を講じることができます。

## 6 ワーク・エンゲイジメントを測れる

80項目には、**ワーク・エンゲイジメントも含まれて**います。メンバーが働きがいをもって日々業務に従事しているかどうかは、組織の生産性をはかるうえで大変重要な尺度と言えます。いきいきと働く職場（ES（Employee Satisfaction/従業員満足度））は、コミュニケーションも活発でチームワークもよく、メンバー一人ひとりがストレスを抱えにくい職場になると思われます。またワーク・エンゲイジメントの高い職場は組織へのロイヤリティが高く、組織の向かう方向と構成員の向かう方向が一致しやすい職場になると思われます。

## 8 具体的アクションがとれる

80項目でストレスチェックを実施して、受検者へのフィードバックを行うとともに、組織の課題や強みも把握できることで、「**職場環境等改善**」につながり、**組織の課題に応じて具体的にどのようなアクションを講ずべきか**の手段がとれる。

\*健康経営.com より一部抜粋



NPO法人 **かがしまメンタルパートナー協会**

電話：080-3901-8107

“ココロ”の元気は、人と組織強くする。

